



リージョンマトリクスの更新

リージョンテーブルが物理ロケーションを定義するのに対し、リージョンマトリクステーブルはリージョン内で使用可能な帯域幅とリージョン間で使用可能な帯域幅を定義します。BATの[リージョンマトリクス(Region Matrix)]メニューを使用して、リージョンマトリクスを実装または実装解除します。

リージョンマトリクスの実装および実装解除

リージョンマトリクスを実装または実装解除する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [リージョンマトリクス(Region Matrix)] > [リージョンマトリクスの実装/実装解除(Populate/Depopulate Region Matrix)]の順に選択します。[リージョンマトリクス設定(Region Matrix Configuration)]ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [リージョンマトリクスオプション(Region Matrix Options)]セクションで、[リージョンマトリクスの実装(Populate Region Matrix)]または[リージョンマトリクスの実装解除(Depopulate Region Matrix)]のいずれかを必要に応じて選択します。
- ステップ 3** [ジョブ情報(Job Information)]セクションに、ジョブの名前を入力します。この情報により、ジョブが識別しやすくなります。
- ステップ 4** ジョブをいつ実行するかに応じて、[今すぐ実行(Run now)]または[後で実行(Run Later)]を選択します。
- ステップ 5** [送信(Submit)]ボタンをクリックします。
- ステップ 6** [ジョブスケジューラ(Job Scheduler)]ウィンドウで、送信したジョブのステータスを確認します。必要に応じて、このウィンドウを使用してジョブを再スケジュールすることができます。



(注) 他のBATプロセスと異なり、リージョンマトリクスを実装または実装解除するジョブの進行は、渡されたレコードの数、失敗したレコードの数、または処理されたレコードの数で測定することはできません。結果は、プロセス全体が完了しないと確認できません。



(注) レコード数の作成は、このトランザクションには適用されません。

管理者はリージョン帯域幅のデフォルトを変更できますが、BATメニューを使用して変更することはできません。



(注)

リージョン帯域幅のデフォルトにアクセスするには、Cisco Unified Communications Manager で [システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択します。パラメータタイプは Cisco Unified Communications Manager で、目的の 4 つのパラメータは [Clusterwide Parameters (System - Location and Region)] セクションの一部を構成しています。
